

埼玉連だより

令和7年5月31日

第
75号

★発行 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和 5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎 4 階 TEL・048-825-8163 (一社) 埼玉県弓道連盟

令和7年度の課題

会長 本橋民夫

令和7年度は、一般社団法人化3年目になり、これまで経理面、体制面に関して一般社団法人の規定に沿って、諸手続き、規約の改正等を行い、法人化としての体制整備は順調に進んでいます。また法人化に伴い、4月1日に埼玉県弓道連盟の事務所をIT事務所に移転し、平日の9時から16時までは、会員の方に交代で勤務していただいております。

そのような中で、令和7年度の主要な課題等について述べます。

【財政関連】

近年、埼玉連の財政は赤字体質が続いており、その解消策を理事会で検討しました。本年度からその対策について取り組んでいきます。

1. 収入面の改善

(1) 大会の参加費の徴収について

一部の大会を除き、大会参加者には原則として参加費を負担していただきます。

(2) 長寿賞受賞者の年会費について

長寿賞を受賞された方の県連会費は、参段以下1,000円、四段以上2,000円です。一方、全弓連の分担金は一人当たり2,000円です。

長寿賞受賞者の年会費を、全弓連分担金の額との整合性について、今後検討いたします。

2. 支出面の改善

(1) 表彰等の規模縮小について

表彰規定に定められた表彰に関しては、次のように変更いたします。

ア 昇段・昇格者賞：従来通り継続

イ 優秀選手賞：特別賞の廃止、従来の特別賞のみを優秀選手賞として存続

ウ 長寿賞：表彰状授与のみとする

エ 功労・荣誉賞：従来通り継続

(2) 文書処理の電子化

各種資料は極力電子化して、メールにて送信し、紙の節約及び郵便料金の削減に努める。

(3) リモート会議の推進について

各種会議等はZOOMによるリモート会議を推して、会場借料・旅費等の削減を図る。

【競技力向上関連】

全国大会入賞がすべてではありませんが、近年優秀地連表彰では下位に低迷しております。優秀地連表彰対象大会での上位入賞を目指して強化練習等を行って、競技力の向上を図ります。

【ねんりんピック埼玉大会】

埼玉県、上尾市と連携を密にして具体的に各種準備を進めて行きます。

(1) 大会役員候補の選出

早急に役員候補を選出して、役員総会を開催し、各自の役割等を明確にします。

(2) 先行開催県等の視察

昨年度、鳥取大会を視察して、概要を把握しました。今年度は、岐阜大会を視察して詳細を把握し、大会の準備をいたします。

(3) マニュアル等の作成

先行開催県等から関係資料等を収集し、埼玉連としてのマニュアルを作成し、令和8年度予定のリハーサル大会で検証して本大会に備えます。

【コンプライアンス関連】

令和5年度、令和6年度に引き続き、コンプライアンス研修会の開催等により、ハラスメント防止の意識高揚に努めます。

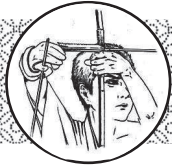
(1) コンプライアンス研修

5年度は理事等を対象に、6年度は各連盟の長等を対象に弁護士を招いてコンプライアンス研修会を開催しました。多くの会員の方々に参加していただくよう今年度も企画します。

(2) コンプライアンス関連動画の視聴

関係部署からのコンプライアンス関連動画入手し、各支部に配布して会員の皆様に紹介して、意識の高揚に努めます。

以上、本年度も各課題を役員一丸となり真摯に取り組んでいきたいと思っております。



専門委員会だより

総務委員会

「埼玉連だより」の合理化検討

委員長 二見富士夫

編集委員会では、令和6年9月から、「埼玉連だより」の発行部数削減に向けた検討を行ってきました。検討開始のきっかけは、財政問題等検討小委員会での「発行した冊子が余っているのでは？」との指摘でした。

編集委員会では、この指摘を受けて早速「埼玉連だよりの合理化」を目的とする作業チームを編成し検討を進めて参りました。

2月1日の総務委員会で、検討結果の報告と今後の方針提案を行い了解が得られましたので、その骨子を報告いたします。

なお、報告に先立つ第3回理事会（1/18）では、本橋会長から「埼玉連だよりは、埼玉連の中央と会員をつなぐ重要なパイプである」との認識と、「会員の皆さんに影響するいろいろな大切な事が書いてあるので、とにかく皆さんには読んでいただきたい」との指示があったことを申し添えます。

＜報告書の骨子＞

1. 発行部数削減検討作業の目的
 - ①発行部数削減による経費削減
 - ②誌面への適切なアクセス
2. 調査結果の概要
 - ①各支部とも部数は概ねたりている。
 - ②印刷部数を削減し、電子媒体で提供することには全支部が「仕方ない」と認識している。
 - ③印刷を廃止した場合の代替手段としてITを活用することは賛成であるが、ITを使えない会員への配慮が必要である。
3. 調査結果に基づく省印刷発行方針の提案
 - ①発行部数は削減するが、必要最低限の部数は支部経由で連盟に配布する。
 - ②誌面内容の高度化と費用削減のために、ページ数の合理化（削減）を図る。
 - ③誌面を補う「HP参照データ」を活用する。報告内容については、埼玉連ホームページの「埼玉連だより参照データ」に掲示しています。（以下、「HP参照データ」と表現します。）

長寿賞受賞

おめでとうございます

令和7年度受賞者（順不同・敬称略）

白寿1名・米寿14名・傘寿16名 合計31名

前川良輔 小嶋一夫 島田三男 根岸啓介
山内ふさ子 村山カツ子 小澤通春 小紫正孝
小崎健二 射越文子 本多津弥子 小林 等
大枝登志男 前川 實 山口糸子 岸美由起
瀧上三郎 毛房和弘 那須充良 富野武彦
武田勝美 渡邊さん 土居眞佐子 松田信一
田口政昭 本橋 薫 鈴木慶子 小駒 康
堀井 剛 釧持碩雄 古川弘明

今年は戦後80年となり、これからしばらく団塊の世代が傘寿を迎えます。大変嬉しいことです。

祝 おめでとうございます！

●武道優良団体表彰を、さいたま市記念総合体育館「彩弓会」が受けました。（山崎孝美会長）詳しくは月刊「弓道」（2025年2月号）を参照

●古泉利昭先生
受賞おめでとうございます。
文部科学省よりスポーツ功労賞が授与されました。（ご感想をP11に掲載しています）

訃報

岡田義助先生（記念）、新井勲夫先生（蔵）
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

両先生に於かれましては、長年にわたり埼玉県弓道連盟に多大なる貢献と共に、多くの会員にご指導をいただきました。残念でなりません。

また、岡田先生には「思い出」を、埼玉連だより70・71号にお寄せいただきました。

先生を偲びつつご覧ください。

（竹内せき子）

指導委員会

今年度指導目標

前委員長 飯島千代子

常日頃より会員の皆様には、講習会等へのご協力を賜り感謝しております。

指導委員会の役割は、武道としての弓道の理解および射技力向上の一助になることを目指しております。

今年度の全弓連の指導の趣旨になる考えは、

「射技の研鑽を中心におこなう」

となっております。埼玉県もそれに則り進めてまいります。

【埼玉県の今年度指導目標】

- ① 射法・射技の基本に徹したうえでの「的中」
 - ◎基本の5項目を深く習得していく
 - 特に基本体型（縦横十文字・五重十文字）
 - ◎正しい射法八節の実践
 - 的中に繋がる会の条件6項目
 - ・ねらいが、正しくついているか
 - ・頬付けは、しっかりできているか
 - ・胸弦は、しっかりついているか
 - ・正しい矢束が、とれているか
 - ・縦横十文字は、できているか
 - ・伸合い詰合いは、できているか
- ②「基本動作の注意点」の中で「腰が基幹」を重点とする
- ③「離れ」について
 - ・手先で離さず、体の中心・体の軸（芯）から離すことが肝要
- ④ 高段者について
 - ・更なる射品・射格を高め、「真善美」を求めていく努力を怠らない
- ⑤ ハラスメント防止に努める

これらを目標にして修練することが、射技の向上に繋がり、腰を中心にした全身を使うことにより健康的な身体で、明るく楽しい弓道の日常が長く続くのではないのでしょうか。

競技委員会

競技委員会報告

前委員長 市川政子

日頃は競技委員会へのご協力をいただきましてありがとうございます。令和6年度の大会も無事に終了いたしました。

令和7年3月に開催された大会

●全日本勤労者選手権大会埼玉県予選では埼玉県教職員チーム、ホンダ埼玉Aチームが選拔され、青森県で開催される本大会（5月31日～6月2日）に出場します。健闘を祈ります。

●神奈川、埼玉指導者交歓射会はコロナ感染のため中止が続いていましたが5年ぶりに開催されました。埼玉県からは29名の参加でした。参加者は少なめでしたが的中率では41%で神奈川県より良い成績でした。

●全国オンライン大会は各支部より選手を推薦して、その中から代表選手を選出させていただきました。練習では大変良い中で今年こそ予選通過と思いましたが本番では緊張もあったのでしょうか。残念な結果でした。また来年に期待したいと思います。

本年度より大会参加者には参加費1,000円をご負担いただくことになりました。欠席されても参加費は徴収いたしますのでご承知おきください。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

競技委員会では年に一度の研修会と各大会が終了するたびに反省会を行っております。問題点について解決策を検討してきました。

競技委員も多数入れ替わりがありますので新委員さんには早く大会の仕事に慣れていただきたく思います。私も6年間務めました競技委員長を退任いたしました。副委員長他委員の皆さんに教えていただく事が多くあり、頼りない私を皆さんが支えて下さいました。只々感謝するばかりです。ありがとうございました。

大会参加者の皆様もこれまで以上に大会運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。

国スポ選手強化委員会

令和7年度に向けて

委員長 古泉利昭

令和6年度山梨で開催された関東ブロック大会で成年は残念ながら男女とも予選通過ができませんでした。それでも少年女子が佐賀国スポに出場し、近的7位、遠的6位と遠近ともに入賞し、総合8位という成績で頑張ってくれたのが唯一の救いでした。

現在、滋賀国スポに向けての選考会を行っている最中です。その選考会参加に関し、特に女子選手ですが、一回の参加人数が10人と少しで、15人に満たない人数です。男子も20人前後と決して多い人数ではありません。女子の参加者は男子の半分しかなく、もっと増やさなければならぬと考えています。

原因を探ろうと思い育成会と選考会の人数の推移を表にして比較してみました。選考会で女子が男子の半分位になる年が時々出現しますが、その原因は何かまったく分かりません。

表にして見えてきたのは、育成会の参加者数が平成25年には一回当たり50人あったこと。その後は大体一回当たり25人前後で推移していること。そして選考会は平成25年から一回当たり26～35人となっていることなどでした。また特に育成会と選考会の人数の相関関係も認められませんでした。

ちなみに6年度の育成会の参加人数は一回当たり24名（内女子9名）、選考会は33名（内女子10名）でした。

やはりすそ野を広げピラミッドの底辺を大きくしないと良い選手は見つからないと思います。7年度は、平成25年からの最高値の育成会一回当たり50人、選考会39人を超えることを目標に強化委員全員で知恵を絞ります。

なお、会員の皆様におかれましても、国民スポーツ大会は各県の名譽をかけて行われる大会で、成年の部は上の年齢制限はありません。我こそはと思う方はぜひご参加ください。また支部長はじめ各道場の指導者の先生方、これはという方がおられましたら国スポへのご勧奨くださるようお願いいたします。

審査委員会

現況と退任のご挨拶

前委員長 齋藤安次

令和6年度の審査会も無事終了しました。これも各支部のご協力の賜と感謝申し上げます。

令和6年度の地方審査会の受審者数は3,260人で、前年比162人増でした。内訳は、一般35人増(2.3%増)、高校127人増(7.3%増)でした。令和4年から毎年会員数が増えていること、また初心者教室や講習会等で向上心が身についていることが増加の要因と考えられます。

さて、コロナ禍で運営方法の試行錯誤を重ねてきましたが、将来に向けて安定した審査会運営を構築することも重要かと思えます。会員から学科試験を当日会場で実施するのはいつからですかとの質問を受けるようになりました。

地方・連合・中央審査会は全て全弓連主催事業なので、全弓連から指示があれば、皆様には前もってお知らせします。

コロナ禍の前は試験会場で問題が提示され、1時間で答案用紙を提出し採点評価するテスト方式でした。しかし、コロナ禍では人の密集を避けるため事前に課題を提示し、レポートを提出して採点評価するレポート方式が採用されました。学科試験は教本をよく読んで理解し、実技に反映することが目的なので、どちらの方式になっても良いように勉強してください。

一方で、受審者全員を招集して開会式を実施し、当日可否を発表する審査会運営は、受審者にとって長時間の拘束になり合理的でないことも分かってきました。また、2射場400人程度の受審者控室を確保することの難しさと、当日の混雑状況を考えると、暫くは現状の運営方法が続くと考えています。

このたび審査委員会の委員長を退任することになりました。副委員長を4年間、委員長を8年間続けてこられたのは、諸先輩方からのご指導と会員の皆様からのご協力と併せて温かい励ましのお言葉をいただけたおかげです。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

新委員長にもご厚情をいただきますようよろしくお願いいたします。

女 子 部

第46回【女子部弓道大会】

女子部 中島幸子

女子部唯一の行事【女子部弓道大会】が、春を感じる3月9日に滞りなく開催できましたこと、女子部一同安堵しご報告いたします。

今年度は、県立武道館が改修工事で使用できないため、大宮公園弓道場での女子部大会となりました。前年と違う会場という事で不安がありましたが、前日の準備は、開催中の『勤労者弓道大会』会場にお邪魔することになり、競技委員会の皆様のご理解、ご協力の下、念入りに準備できました。

女子部弓道大会は年度末の忙しい中、また駐車場確保の不安な状況にも関わらず、多くの参加者の皆様には、公共交通機関を利用していただいた方が多く見受けられました。女子部役員の予想を反した213名という多くの方にご参加いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度も開会式では、飯島千代子先生の矢渡は、立射による襷さばきをご披露いただき、女子部大会らしいスタートになりましたこととても嬉しく思います。女子部恒例の五段昇段者のお披露目もまた、厳かに終えることができました。会場の問題もあり、大会は今回も部門ごとの開催になりましたが、選手の皆様のご協力により速やかに競技を進行できました。元女子部役員の先生方には、終日大会役員としてご尽力くださり、また当日選手として参加し、的前等の応援に携わった方々のお陰で、大会を順調に遂行でき、沢山のお力をいただきました。

最後になりましたが、今回の女子大会の射場審判のお役目をお引き受けくださいました、本橋会長、飯島先生、戸塚先生、市川先生、北原先生におかれましては、終日女子大会を見守ってくださり、厚く御礼申し上げます。競技中、先生方にご指導ご鞭撻をいただき、多々ありました反省点を活かし、今後の大会に繋げるよう女子部員精進してまいります。

次回の女子部大会は、また新たな女子部員が加わり、皆様をお迎えします。多くの皆様のご参加、楽しみにお待ちしております。

五段昇段者のお披露目の写真については

「HP 参照データ」

高 体 連

令和7年度に向けて

委員長 坂本 修

日頃より弓道連盟の皆様には、高体連弓道専門部の活動に対しまして、多大なるご理解・ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和6年度の下半期に行われました上位大会においても、埼玉県勢が優秀な成績を収めてくれました。

11月に行われました関東選抜大会において、男子団体に正智深谷高校が優勝、女子団体に川越南高校が3位に入賞しました。また、女子個人において、大宮東高校の黒岩選手が5位、草加西高校の葛西選手が7位に入賞しました。

12月に行われました全国選抜大会において、女子団体に大宮東高校が5位に入賞しました。

年度が替わり、4月16日（水）に顧問総会が大宮公園弓道場にて行われました。今年度は役員改選の年にあたり、事務局を務められた大宮高校の酒井先生がご栄転ということで抜けられたところを、川越高校の新山先生にお願いしました。酒井先生には、令和元年より事務局として、特にIT関係においてご尽力いただきました。この場を借りまして、お礼を申し上げます。

最後になりますが、今後とも連盟の皆様のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

【令和7・8年度専門部役員】

部 長	田部井 洋（川口北・校長）
委 員 長	坂本 修（進修館）
副委員長	小此木利樹（滑川総合）
副委員長	山田 尚子（所沢）
副委員長	古岡 大路（川越南）
副委員長	平野 幸男（進修館）
事務局長	蓮見 勇人（川越女子）
事 務 局	橋本 徹弥（川越総合）
事 務 局	新山 哲史（川越）
高体連会計	友井 誠（鳩ヶ谷）
弓連会計	井上 尚（大宮東）

高校生大会の結果の詳細については、

「HP 参照データ」

大会・射会入賞記録

「埼玉連だより」第74号以降の主な大会入賞について概要を報告いたします。

●第75回全日本弓道遠の選手権大会

令和6年10月25日（金）～27日（日）
ユウケイ武道館（栃木県）

●第147回明治神宮奉納全国弓道大会

令和6年11月3日（日） 全日本弓道連盟中
央道場 / 明治神宮武道場至誠館弓道場

●第22回埼玉県武道大会

令和6年11月24日（日） 日高アリーナ弓道場
（日高市）

●第43回全国高等学校弓道選抜大会

令和6年12月25日（水）～27日（金）
四日市市総合体育館アリーナ（三重県）

●埼玉県弓道連盟新年初射会

令和7年1月5日（日） 日高アリーナ弓道場
（日高市）

●第72回全日本勤労者弓道選手権大会・埼玉 県予選

令和7年3月8日（土） 大宮公園弓道場
（さいたま市）

●第46回埼玉連女子部弓道大会

令和7年3月9日（日） 大宮公園弓道場
（さいたま市）

各大会の詳細は、「HP参照データ」

「埼玉連だより」の誌面に掲載できなかった内容を参照する方法

「埼玉連だより」では、「HP参照データ」として、誌面では紹介できなかった
詳細なデータや参考となるデータをホームページ(HP)上に提示いたします。
次の手順で「HP参照データ」をご覧ください。

＜手順-1＞ パソコンやスマホで「埼玉連ホームページ」と検索する。



一般社団法人
埼玉県弓道連盟

埼玉弓道連盟について	審判	大会	講習会	支部	埼玉連だより	県連からの通達	その他お知らせ
------------	----	----	-----	----	--------	---------	---------



＜手順-2＞ 「埼玉連ホームページ」の画面の「埼玉連だより」を選ぶ(クリックする)

71	令和5年5月31日	範士号を拝受して 範士八段浅野有三・思い出(埼玉連顧問岡田義)
72	令和5年11月30日	特集・関東ブロック大会
73	令和6年5月31日	大宮公園弓道場の臨戦『美美』は誰の書
74	令和6年11月30日	法人化のこれまでとこれから その1

【補足】

このQRコードを使えば、
「埼玉連だより」の画面
に直接到達できます。

＜手順-3＞ 見たい「埼玉連だより」の号数を選ぶ(クリックする)

埼玉連だより

74号

選んだ「埼玉連だより」の
最終ページの後に、
「HP参照データ」が掲載さ
れています。

「HP参照データ」

「埼玉連だより」第74号 参照データ

P18-1 安沢範士揮毫の「垂示」の読下し文

垂示
常任射場の境界に鑑
し第一義諦として射
に見性することを経
精進すべし
一切の縁因を断絶して
淨観なる自己を
莊嚴し射場に直進
することを行わねば
射たるべし
射場に入念を備えて
宇宙の大自然を射得
して実相に照徹す
べし
射性見性は人生安心
の大道なれば無常
天地異成不替身命
以って一箭即終焉の
大業たることを自覚
し射と事業は
一射たるべし
以上
東宏



秩 父 支 部

支部長 町田 文利

令和7年度を迎えて

支部長 町田文利

秩父支部では、3月30日に定期総会が開催され、令和7年度・令和8年度も引き続き支部長を務めさせていただくことになりました。微力ではありますが、支部の皆さんが楽しく弓が引けるよう心がけて、事業運営を行っていききたいと思います。

今年度は7月末まで県立武道館が改修工事で利用できないため、7月21日の三県選抜弓道選手権大会が秩父第一弓道場で行われます。この時は、19日に第38回埼玉県総合スポーツ大会中学生の部兼第22回全国中学生弓道大会埼玉県予選会が開催され、翌20日は三県国スポ選手強化練習会が予定されており、3日連続で大きな行事をこなさなければなりません。宿泊を伴い県外からの参加者が多い大会でもありますので、滞りなくスムーズに運営できるよう準備したいと思っています。

<競技・講習会>

●第4回支部カップ戦

令和6年10月27日(日) 秩父市第一弓道場
参加81名

- 中学生：①黒澤彩保②加藤悠磨③黒沢愛織
- 高校男子：①松田丈成②伊藤正翔③石田大和
- 高校女子：①本橋マリア②若林杏菜③黒澤虹未
- 一般男子：①野沢 匠②黒沢 誠③亀井建司
- 一般女子：①酒井三佐子②井上美根子③大野きみ

●第5回支部カップ戦納射会

令和6年12月15日(日) 秩父市第一弓道場
参加82名

- 中学生：①加藤悠磨②黒澤彩保③井上瑠華
- 高校男子：①茂木敦也②黒澤慶悟③久保 睦
- 高校女子：①飯塚怜奈②井上亜優③戸田あゆみ
- 一般男子：①町田文利②内田 翼③川西俊祐

○一般女子：①齋藤由美子②若林めぐみ③小林麻弓

●第6回支部カップ戦初射会

令和7年1月12日(日) 秩父市第一弓道場
参加71名

- 中学生：①菊池奏一郎②黒澤彩保③小泉順平
- 高校男子：①岸 柚希②清水 空③清水春音
- 高校女子：①飯塚怜奈②本橋マリア③井上亜優
- 一般男子：①若林武司②富田昌孝③藤井武政
- 一般女子：①齋藤公子②小林麻弓③井上美根子

●秩父郡市高等学校弓道大会(四高戦)

令和7年3月31日(月) 秩父市第一弓道場
参加26名

- 男子団体：①秩父農工科学B(茂木敦也、引間晴哉、久保 睦)②秩父農工科学A(石田大和、内田光弥、松田丈成)
- 女子団体：①秩父農工科学A(井上亜優、黒澤虹未、戸田あゆみ)②秩父農工科学B(小泉陽加、福島和葉、本橋マリア)
- 男子個人：①石田大和(秩父農工科学)②久保睦(秩父農工科学)
- 女子個人：①戸田あゆみ(秩父農工科学)②黒澤虹未(秩父農工科学)

●支部高校生講習会

令和7年3月20日(木) 秩父市第一弓道場
参加29名 講師：秩父支部指導委員



画・松本 匡

県 北 支 部

支部長 中島 勇

支部長就任のご挨拶

支部長 中島 勇

令和7年度より県北支部長に就任することになりました本庄弓連の中島です。

力不足を感じながらの就任ですので、諸先生方や会員の皆様のご協力をいただきながら精一杯努めてまいりたいと存じます。



支部長就任前は、支部会計を10年・県連理事を10年・県競技委員を16年・本庄弓連会長を6年、少しずつ重複しながら務めさせていただきました。

そろそろ弓道の役職から離れて、ガタの来ている自分の射に向き合おうかなと思っていたのですが、新たな荷にずっしりと重さを感じます。弓友皆様の弓道に向かう姿勢に学びながら、会員数の減少が見込まれる状況ではありますが、支部内会員がより活動しやすいよう、また、新規会員を少しでも増やせるよう努力してまいりたいと思います。簡単ですが、支部長就任の挨拶とさせていただきます。

支部長退任のご挨拶

前支部長 高橋久雄

故松沢岳範士が生前よくおっしゃっていたのが「引分けは肘で引くんだよ」ということでした。皆さんも講習会などで言われたことがあると思います。でもこれには続きがありました。

熊谷の道場では、休憩時間の時などに「手で引いて5年、肘で引いて5年、肩で引いて5年、胸の中筋で5年、合計20年かかるんだよ」とよく言われていました。初めてこのことを伺ったとき、私は既に20年以上弓を引いていて、その言葉に愕然とした記憶があります。それから更に年月が経ち、今更ですが、やっと肩で引くということが判ってきたこの頃です。

さて、私も支部長を拝命して既に5期10年、短くもあり、長くもありました。私は、この度支部長を退任いたします。この間、皆様のご指導とご支援のおかげで、微力ながら無事にその責任を全うすることができました。心より感謝

申し上げます。この10年間弓道を通じて素晴らしい方々と出会い、また貴重な経験をさせていただきました。これまで支えてくださった皆様のご厚情に改めてお礼申し上げます。

72歳はまだまだ若いのが弓の世界です。これからも中筋の射を求めて修練していきたいと思います。

4月より中島勇支部長の下で新たな体制がスタートしました。これからの県北支部が素晴らしい活動が展開されることを期待しています。

<競技・講習会>

●第3回支部カップ戦

12月1日(日) 熊谷運動公園弓道場

参加112名 団体:①熊谷I(関口尚人、関口淳子、三澤一夫)②行田D(小堀充久、石井加奈子、樋口和宏) 個人:一部①西岡謙市朗②中島 勇③青木 豊 二部①川久保真弓②田中秀幸③長井敦史 三部①石井加奈子②松澤尚一③小林 昭

●支部初射会兼昇段昇格者祝射会

1月19日(日) 熊谷運動公園弓道場

参加46名 個人:一部①山下広二②莊子宏幸③蓑輪匡一 二部①加藤孝一②大嶋道雄③上野 昇 三部①尾形 宏②古平成美③倉前康明

●第117回県北支部高校生大会

3月28日(金) 熊谷運動公園弓道場

参加:男子97名、女子121名 計218名

男子優秀校:進修館高等学校

女子優秀校:羽生第一高等学校

男子①横山士純②新井涼介③篠塚晴仁

女子①門倉亜子②三宅優菜③新井 愛

●県北支部第3回講習会

・9月16日(月)【初段・三段】 寄居町弓道場

参加4名 講師:茂木昭夫教士

・10月2日(水)【初段～四段】 本庄市若泉運動公園弓道場 参加14名

講師:岡芹喜行教士

・10月6日(日)【参段・四段】 行田市総合公園弓道場 参加19名 講師:島村保男教士

●県北支部高校生講習会 3月22日

・熊谷運動公園弓道場 参加49名

講師:岡芹喜行教士、設楽謙二錬士

・寄居町弓道場 参加26名

講師:島村保男教士、中島 勇錬士

・行田市弓道場 参加54名

講師:茂木昭夫教士、内山俊夫、島崎崇光各錬士

東 部 支 部

支部長 仲田 孝雄

新任で思うこと

支部長 仲田孝雄

いつもお世話になっております。

支部長役を拝命し新任の今、思うことを申し上げます。

ある会員の方から、支部のエネルギーをプラス思考に導いてくださいと言われました。はてな、プラス思考って何でしょうか？と思い巡らせました。物事を前向きにとらえようとするのでしょうか、周りを励ましてお気楽で行くことでしょうか。

思いあぐねた結果、思い至ったのは、自分はひとりじゃない、協力してくれる人が周りにたくさんいると感謝すること、おかげさまの心、これこそがプラス思考ではないかということです。

組織内の一人一人が自分の周りは協力者でいっぱいだと思えて、実際協力し合えれば、すばらしい機能的組織ができ上がるものと思います。組織機能は個々の力の結集力（組織力）いかなです。

支部長の心得として、支部長という立場で物事を考えずに、支部長の機能・役割を果たすことをまず考えて行動してまいります。

具体的には、周りの会員のご協力を仰ぎつつお役に立てるように、支部会員のみなさまと県連との繋ぎ役に専一務めてまいります。伝達は正確かつスピーディを心掛けていきます。

世の中、常に順風満帆とはいかないものです。たとえ向かい風の荒天時でも、役員はじめ会員の方々のご理解とご協力があれば乗り切っていけるものと信じます。

これからもご鞭撻のほどどうかよろしくお願い申し上げます。

最後に、弓道の修練にもプラス思考は大切だと思います。プラス思考はおかげさまの感謝の心です。ありがとうございます。

<競技・講習会>

●県武道大会最終選考会

令和6年10月13日（日） 大宮公園弓道場

参加20名 一般の部男女5名の選手選出

●東部支部納射会

令和6年12月22日（日） 大宮公園弓道場

参加107名 ①新井 満（春日部）②三田 明（春日部）③荒木美喜夫（幸手）

五段以上の昇格昇段者のお披露目

●東部支部新年初射会

令和7年1月11日（土） 大宮公園弓道場

参加109名 ①仲田孝雄（上尾）②二見富士夫（春日部）③岩崎康夫（桶川）

余興的：扇的6本、金的3個

●県南・東部支部高校生弓道大会

令和7年3月22日（土） 大宮公園弓道場

参加 男子274名 女子347名

男子団体①春日部東A③桶川A 女子団体②伊奈学園総合B③伊奈学園総合A 男子個人①小川広太郎（花咲徳栄）③山口修平（桶川） 女子個人①齋藤菜摘（栗橋北彩）②山崎晴葉（桶川）

●東部支部総会射会

令和7年3月30日（日） 大宮公園弓道場

参加109名 ①初田美代子（桶川）②富永剛志（上尾）③二見富士夫（春日部）

●第5回講習会（一般の部 五段以上）

令和6年10月26日（土） 大宮公園弓道場

参加16名 講師：北原きい子、村上節子、仲田孝雄 各教士、脇本 緑 錬士 内容：射礼研修（一つの射礼、持的射礼）

●第6回講習会（一般の部 四段以下）

令和7年1月18日（土） 大宮公園弓道場

参加51名 講師：北原きい子教士、細野隆志、齋藤 満、高橋かおる 各錬士 内容：一手行射・講評、注意点確認、射技指導、仕上げ行射

●第7回講習会（高校生の部）

令和7年3月16日（日） 大宮公園弓道場

参加：午前36名 午後38名

講師：仲田孝雄、富永剛志 各教士、脇本 緑、麻生とし江 各錬士 内容：審査方式・体配、失の処理、射技指導

●第7回講習会（高校生の部）

令和7年3月28日（金） 大宮公園弓道場

参加：午前38名 午後38名

講師：村上広子、村上節子 各教士、細野隆志、吉丸 寛 各錬士 内容：審査方式・体配、失の処理、射技指導

県 南 支 部

支部長 鹿野 信恵

1 年を振り返って

支部長 鹿野信恵

本年はことのほか寒暖差の激しい梓弓の春で、花粉や黄砂も相まって身体コンディションを整えるのに苦労しながら皆さまそれぞれ稽古に励んでいます。

県南支部はこの1年、予定していた諸事業を滞りなく進めることができました。各種の支部射会においては新しい顔もたくさん見かけるようになり活気づいてまいりました。そうした方々には、これから支部内での活動を通して、競技の進め方や持ち場の運営方法など、様々なことを学びながらまずは弓道を楽しんでいただき、ゆくゆくは道場や支部を支える力になっていって欲しいと願っています。

今年は県立武道館改修のため、第1回地方審査会を緑の森公園越谷市弓道場にて実施いたしました。初の審査会場ということで、円滑に進行できるかどうか非常に不安でしたが、生憎の悪天候にもかかわらず皆様のご協力のおかげで無事に終えることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

最後になりますが、本年3月に新井勲夫先生がご逝去されました。長年にわたり県連理事長、国体強化委員長、そして県南支部長を歴任され、私たちを導いて下さいました。

衷心よりご冥福をお祈りいたします。

<競技・講習会>

●令和6年度 県南支部納射会

令和6年12月7日(土) 大宮公園弓道場

参加 83 名

個人：①藤井健人(松伏) ②上田澄世(川口)
③吉田真紀子(越谷)

●令和7年 県南支部初射会

令和7年1月19日(日) 大宮公園弓道場

参加 135 名

個人：①吉越眞之(草加) ②木本将史(蕨)
③渥美訓明(蕨)

●令和7年 県南支部総会射会

令和7年3月20日(木・祝) 大宮公園弓道場

参加 83 名

個人：①瀧上三郎(吉川) ②五十川英俊(吉川)
③長久保由紀(越谷)

●令和7年度 県南支部優勝杯戦

令和7年4月6日(日) 大宮公園弓道場

参加 101 名

団体：①川口B(加藤徹也・高橋利夫・村永政志)

②川口A(上田澄世・梅澤幸子・関谷小織)

③越谷E(荒木博史・小関一哉・黒須昭宏)

個人：①秋元宏友(戸田) ②森 正一(蕨)

③村社計寿(草加)

●令和6年度 第2回講習会(参・四段の部)

令和6年10月5日(土) 大宮公園弓道場

参加 35 名

講師：浅野有三範士、木本将史教士

●令和6年度 第3回講習会(参段以下の部)

令和7年1月25日(土)

緑の森公園越谷市弓道場 参加 45 名

講師：瀧上三郎、宮澤梢枝 各教士

●令和6年度 第3回講習会(四段以下の部)

令和7年2月2日(日) 川口青木町公園弓道場

参加 11 名

講師：有ヶ谷将人教士

●令和6年度 高校生講習会

令和7年2月8日(土) 大宮公園弓道場

参加 72 名

講師：宮内 毅教士、佐々木睦美、藤井澄恵、
西澤祐樹、森 俊人、一柳幸男 各錬士

※ 講習内容は各段位に応じて体配・射技指導を実施

●県南東部高校選手権

令和7年3月22日(土) 大宮公園弓道場

審判員派遣なし

県 央 支 部

支部長 軽込 次男

生涯スポーツ功労者賞を受賞して

古泉利昭

令和6年10月18日に霞が関の文部科学省で、飯島千代子先生とご一緒に生涯スポーツ功労者賞をいただけてまいりました。

このような荣誉ある賞をいただくことができましたのは、決して私の力だけではなく、弓連の方々の支えがあってこそ実現できたものと心から感謝いたしております。

私が初めて弓に触ったのは、高校の時アルバイトで行った寺尾農園という遊園地にある矢場でした。そこで矢取りの係に指名され、仕事が終わるときに担当の女性の方から引き方を教わりました。そして三十代半ばに病気をした際、何か運動をと思った時、府中市の広報で弓道教室の募集を見つけ、昔少しやったことがあるとそれに応募したのが弓道を始めるきっかけでした。その後引っ越しで東京都第三地連から埼弓連に変わりましたが、お仲間に入れていただき何とか弓を続けてくることができました。

今後はこの受賞に恥じないよう、より一層精進し、次世代に弓道の楽しさを伝えていきたいと思っておりますので、どうかご指導ご鞭撻くださるようお願いいたします。



<競技・講習会>

●武道大会最終選考会

令和6年10月5日(土) 大宮武道館弓道場
参加62名 代表10名選出 ○一般男子/廣川哲次(駒場)、町田智行(岩槻)、浅野正俊(大宮)、小日向勝美(駒場)、大樂真健(記念)

○一般女子/鏑間恵美(大宮)、フビジエンヘザヤ(記念)、森 典子(大宮)、山岸繭子(駒場)、佐藤さつき(大宮)

●さいたま市市民スポーツ大会(一般の部)

令和6年10月14日(祝月) 大宮公園弓道場
参加162名 ○団体①駒場C(小日向勝美・蓮見文子・廣川哲次)②記念E(フビジエンヘザヤ・川邊秀一・大樂真健)③大宮G(浅子好夫・佐藤さつき・松澤かおり)○個人男子①宇都宮寿武(記念)②飯嶋 功(岩槻)③廣川哲次(駒場)○個人女子①フビジエンヘザヤ(記念)②前本 泉(駒場)③松澤かおり(大宮)

●さいたま市市民スポーツ大会(高校の部)

令和6年10月27日(日) 大宮公園弓道場
参加545名 ○男子団体①市立浦和A(篠原・黒川・野内)②大宮南A(中野・松本・関)③浦和A(苑田・志賀・横山)○女子団体①大宮光陵A(飯田・羽石・大瀧)②大宮南A(新井・武田・福島)③浦和東A(新堀・逆井・新澤)○個人男子①平野裕哉(大宮南)②和田 樹(与野)③中野恭也(大宮南)○個人女子①下山凜(岩槻商業)②黒岩叶夢(大宮東)③亀井ひなた(大宮東)

●県央支部杯・市選手権大会

令和6年11月17日(日) 大宮公園弓道場
参加102名 ○団体①瀬田 稔(大宮)吉澤幸子(岩槻)大樂真健(記念)②田口喜也(岩槻)照井恵里(大宮)廣川哲次(駒場)③フビジエンヘザヤ(記念)根岸美和子(大宮)川合儉司(大宮)○称号者①大樂真健(記念)②山岸繭子(駒場)③小野千絵美(記念)○四・五段①鏑間恵美(大宮)②フビジエンヘザヤ(記念)③加々美淳一(駒場)
○参段以下①赤岩奈美(大宮)②吉澤幸子(岩槻)③上野敏行(大宮)

●県央支部納射会

令和6年12月14日(土) 大宮公園弓道場
参加130名 ○称号者①武政宏美(岩槻)②大樂真健(記念)③廣川哲次(駒場)○四・五段①仁木弘之(駒場)②町田智行(岩槻)③桑原幸重(岩槻)○参段以下①山口哲男(岩槻)②木下靖子(岩槻)③久田浩司(与野)

●県央支部初射会

令和7年1月12日(日) 大宮公園弓道場
参加129名 ○称号者①池田浩次(大宮)②浅子好夫(大宮)③松田栄子(駒場)○四・五段①仁木弘之(駒場)②原田幸江(岩槻)③田中

万理（記念）○参段以下①山口哲男（岩槻）②島崎陽子（記念）③服部晃平（大宮）

●県央支部総会射会

令和7年3月23日（日） 大宮公園弓道場
参加91名 ①廣川哲次（駒場）②久田浩司（与野）③軽込次男（岩槻）

●春季高校生（中学生）大会

令和7年3月27日（木） 大宮公園弓道場
参加599名 ○男子団体①大宮A（大井・三井・古川）②与野A（櫻井・関・原）③大宮南B（岡田・小林・平野）○女子団体①大宮光陵A（飯田・羽石・大瀧）②大宮東D（古澤・荒田・沢口）③大宮南A（新井・大場・福島）○個人男子①平野裕哉（大宮南）②三井悠太（大宮）③浅川陽斗（岩槻商業）○個人女子①新堀亜美（浦和東）②大場芽衣（大宮南）③大瀧稟琳（大宮光陵）○中学生個人①松崎心春（市立浦和中）②青山称々（市立浦和中）③市野川真那（市立浦和中）

●五段講習会

令和6年12月1日（日） 大宮武道館弓道場
参加20名 講師：本橋民夫、松澤かおり、清水繁子 各教士 内容：矢渡、介添講評、一手行射、射技解説、持的射礼、射技指導

●称号者講習会

令和7年2月9日（日） 大宮武道館弓道場
参加24名 講師：廣松 弘、松澤かおり 各教士 内容：矢渡、矢渡講評、肌脱ぎ・襷さばきの指導、指導状況の講話、射技指導

●参段以下講習会

令和7年2月11日（祝火） 大宮公園弓道場
参加29名 講師：鷹巣光子、池田浩次、蓮見文子 各教士 内容：入場から退場までの動作指導、一手行射2回、講評、失の処理、射技指導

●四段講習会

令和7年2月23日（日） 大宮公園弓道場
参加18名 講師：浅子好夫、軽込次男、武政宏美、小石久枝 各教士 内容：一手行射、浅子先生の講話、肌脱ぎ・襷さばきの指導、射技指導

●高校生講習会

令和7年3月15日（土）・29日（土） 大宮公園弓道場 参加98名
講師：軽込次男、山崎孝美 各教士他、支部内称号者10名 講習内容：審査に向けて体配および射法八節の指導

西部支部

支部長 池谷 茂

令和7年度の取組み

支部長 池谷 茂

令和6年度の評議員会は3月23日に富士見市総合体育館会議室に於いて開催し、理事及び評議員のご協力により無事終了しました。令和7年度は役員の皆様より推薦され支部長再任となりました。役員も一部交代となり新体制の中スタートします。支部長という重責ではありますが、新理事長、理事、各委員長、役員、会員のご協力が無くしては行えませんので引き続き支部の皆様にお力添えをいただきたいと思います。7月末まで所沢市民武道館弓道場は改修工事のため道場利用ができず、皆様にご不便をおかけしていますがご協力よろしく願いいたします。コロナ、インフルエンザなど感染症対策を怠らず競技、講習会など事業が円滑に実施できるよう努めさせていただきます。各連盟には初心者弓道教室の開催並びに新会員増加に尽力をお願いいたします。引き続き多くの昇段・昇格を願っています。

今後とも各諸先生方にはご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

<競技・講習会>

●第33回西部支部高校弓道選手権大会（中部支部と合同）西部支部結果

令和6年11月17日（日） 日高アリーナ

○団体男子①所沢北A（有井・加藤・門傳）②所沢北C（井上・森崎・五十嵐）③所沢北B（馬場・村上・白根）

○団体女子①所沢北A（太田・村松・須貝）②所沢北B（野田・竹蓋・尾島）

○個人男子①寺岡（所沢北）②加藤（所沢北）③馬場（所沢北）

○個人女子①村松（所沢北）②深堀（所沢北）③柴田（所沢北）

●西部支部納射会

令和6年12月1日（日） 所沢市民武道館

参加147名 ○参段以下の部①赤岩春紀（富士見）②関口純子（所沢）③拈石秀敏（和光）④加納和則（富士見）⑤難波 亮（和光）

○四・五段の部 ①小山 等（所沢）②猪鼻正夫（三芳）③原 彌八郎（所沢）④帶津尚子（三芳）

⑤篠原妃誉（ふじみ野）○称号の部 ①板橋武子（新座）②仲二見ゆう子（新座）③室町純子（志木）④松高桂子（新座）⑤平山夏子（所沢）
○総合優勝 赤岩春紀（富士見）

●西部支部初射会

令和7年1月28日（日） ふじみ野市立スポーツセンター 参加56名 ①本橋民夫（所沢）②大塚俊雄（志木）③平船栄治（志木）④関口研二（所沢）⑤奥富季乃（所沢）

●西部支部総会射会

令和7年3月22日（土） 富士見市立市民総合体育館 参加40名 ①平船栄治（志木）②中野英道（新座）③大塚俊雄（志木）④関口研二（所沢）⑤長瀬きよ子（富士見）⑥境 和久（朝霞）⑦中川みゆき（志木）

●第3回講習会

令和6年10月20日（日） 富士見市立総合体育館 弐段以下 参加32名

講師：松澤かおり、橘 秀光 各教士

令和6年10月20日（日） 朝霞市内間木公園 参・四段 参加32名

講師：鹿野信恵、平船栄治 各教士

●第4回講習会

令和7年1月25日（土） 三芳町弓道場 弐段以下 参加35名

講師：池谷 茂、斎藤和子 各教士

令和7年1月25日（土） 参・四段 ふじみ野市立スポーツセンター 参加35名

講師：廣松 弘、松高桂子 各教士

●指導者特別研修会

令和7年2月9日（日） 三芳町弓道場 教士 参加13名 講師：浅野有三範士

●高校生春期講習会

令和7年3月28日（金） 日高アリーナ 参加 午前23名・午後24名

講師：市川政子、松寄恭子 各教士

●特別講習会

令和7年3月29日（土）

ふじみ野市立スポーツセンター

錬士 参加22名 講師：浅野有三範士

令和7年3月30日（日）

ふじみ野市立スポーツセンター

五段 参加28名 講師：浅野有三範士

中 部 支 部

支部長 那須 充良

入間市弓道連盟 50 年

入間市弓道連盟会長 高橋幸紀

令和5年10月から令和6年末まで、入間市武道館の改修工事のため弓道場が使用できず、入間市弓連の会員は近隣の弓道場に大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

照明がLEDになり、トイレが洋式になり、床も張り替えられて使いやすくなり、会員は今まで以上に熱心に稽古に励んでいます。

入間市弓連は令和6年に創立50周年を迎えました。昭和46年に東金子公民館に野立の弓道場が作られ、昭和49年に入間市弓道愛好会が発足。昭和60年に東金子公民館に3人立の弓道場が建設され、平成になって市武道館の設立構想が発表されて、平成5年4月に武道館本館と別棟の弓道場が竣工しました。弓道場は6人立で広さのバランスや使い勝手も良く、入退場や体配の稽古には最高の道場です。弓道場完成を機に入間市弓道連盟と名称を改め、現在に至っています。

会員は小学生から90歳を超えるシニアまでの110名です。主な活動として毎月の月例射会と講習会、年明けの百射会、5月の近隣親善弓道大会、7月には市内の高校生を招いての市民弓道大会などを開催しています。

また、小中学生と市民向けにそれぞれ弓道教室を開催して弓道人口の拡充にも努めています。教室は、市民向けが毎週土曜日に講習6回、補講6回の計12回、小中学生は毎週木・土曜日の夜間8回実施し、弓道の楽しさを体感してもらい、結果として多くの受講者が連盟に入会し弓道を継続しています。小中学生については教室終了後も夜間稽古を行っております。当初は子供向けの弱い弓がありませんでしたが、武道館の理解を得て弓もそろってきました。各種大会にも積極的に参加しており、県民総合スポーツ大会での入賞者も出ています。

会員には全国大会への出場者もあり、市川政子教士は全日本女子弓道選手権大会に10回以上出場、決勝にも進出、平成13年の全日本弓道遠的選手権大会では3位に入賞しました。

須田明江教士は全日本女子弓道選手権大会と全日本弓道遠的選手権大会に複数回出場しています。西崎明伸教士は平成26年に行われた全日本弓道選手権大会で4位入賞を果たしました。また、平成30年のねりんピックでは下田暹次五段が埼玉県の団体優勝に貢献するなど、各種大会で活躍しています。



＜競技・講習会＞

●第18回みのり会弓道大会

令和6年10月1日（火） 日高アリーナ
参加：65名

①西崎（入間）②三宮（毛呂山）③國分（日高）

●第24回西部地区高校弓道大会兼読売新聞さいたま支局杯争奪戦

令和6年11月18日（月） 日高アリーナ
参加：男子79組 女子100組

男子団体②東農大三（前田、島田、鈴木）

③川越（門脇、上田、安達）

男子個人①門脇（川越）②吉永（坂戸西）

女子団体①東農大三（伊藤、長崎、新井）

②秋草学園（池田、高橋、布施）

③武蔵越生（小谷、荒川、石上）

女子個人①伊藤（東農大三）②石上（武蔵越生）

③布施（秋草学園）

●中部支部納射会

令和6年12月7日（土） 日高アリーナ
参加：67名

四段以下の部①中山（日高）②長津（川越）

③崎原（東松山）

五段以上の部①國分（日高）②安野（小川）

③荒川直（入間）

●中部支部初射会

令和7年1月19日（日） 日高アリーナ
参加：103名

①久保（入間）②國分（日高）③市川政（入間）
金的：的場（東松山）崎原（東松山）吉田（小川）

安野（小川）安井（川越）

●西部地区高校弓道大会

令和7年2月1日（土） 日高アリーナ

参加：男子83組 女子105組

男子団体②坂戸西A（小林、町田、松島）

③川越南A（宮崎、印野、本間）

女子団体①川越南A（長島、田中、京極）

②川越南B（折橋、大澤、金子）

女子個人①長島（川越南）折橋（川越南）

●第4回支部講習会（四段～錬五）

令和6年11月18日（月） 日高アリーナ

参加：17名

講師：市川政子、千葉 公 各教士

川口えり子錬士

●第5回支部講習会（四段以下）

令和7年2月9日（日） 日高アリーナ

参加：70名

講師：高木 渡教士 川口えり子錬士

●西部地区高校生講習会

令和7年3月27日（木） 日高アリーナ

参加：74名

講師：市川政子、須田明江、寶田常則 各教士

編集後記 75号

令和7年度始めは、役員改選の時期です。

執筆いただいた記事の中にも、退任される方の周囲の方々への感謝や、新任の方の抱負などが異口同音に述べられているようです。

役員交代に伴い、業務効率が落ちてストレスが溜まることも多いかと思います。かく申す私自身もその渦中にありますが、伝統ある埼弓連の組織力を信じて、誠心誠意をモットーに対処するしかないと自分に言い聞かせております。

「埼弓連だより」75号から、ホームページを活用した「HP参照データ」の運用を本格化しました。6ページに参照の手順を概説しておりますのでご覧ください。

巻末には前号に続き平野博幸先生の「特別寄稿」として、「法人化のこれまでとこれから」（その2）を掲載しました。

編集長 二見富士夫

特別寄稿

法人化のこれまでとこれから その2 —弓道文化の創造と継承を目指して—

前専務理事 平野 博幸

埼玉県弓道連盟は2023年（令和5）年4月に一般社団法人として新しいスタートを切りました。それから2年が経ちましたが、本連盟が抱える様々な課題はその解決に向けての緒に就いたところだと思います。ここでは法人化の過程で見えてきた課題と現状を考えてみたいと思います。

法人化後の課題

弓道連盟の役員は税務や法律の専門家ではありません。しかし、法人としてのルールがあり、それを逸脱することは許されません。必然的に税理士や司法書士、必要に応じて弁護士などの支援を得ながら組織を運営しなければなりません。また、日本社会の現状から離れて弓道連盟が存在することもあります。こうした点に注目して以下に今後の課題について考えてみます。

① 適切な会計処理と税務申告

法人においては特に会計処理を厳格に行われなければなりません。本連盟では税理士（公認会計士資格を有する）と顧問契約を結び、日常的に会計処理についてのアドバイスを得ており、税務申告も行っています。今後は必要があればインボイス制度への対応も考えなければならないと考えています。税理士費用、司法書士費用、各申告・登記の費用等は本連盟の財政を圧迫します。会員の理解を得ながら会費の改訂も視野に取り組まなければなりません。

② ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底

任意団体であっても組織のガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底は必須です。法人にあつては従来以上に定款・規程に則った組織運営、コンプライアンスの厳守が求められます。間違っても定款や規程に反することがあったり、恣意的で特定の個人（団体）の意見に左右されるような運営が行われたり、種々のハラスメントがあつてはなりません（そうした疑念を抱かれること自

体が問題です）。しかし法人になったからといって、すぐにこれまで以上に組織運営が円滑に行われるようになったり、法人化によってトラブルが発生しなくなるわけではありません。今後は本連盟でのガバナンスの徹底・コンプライアンスの強化を図るとともに県内各支部・各連盟（道場）においても意識改革を図っていただきたいと思います。2023（令和5）年度の第1回コンプライアンス研修会は理事・役員・倫理委員を対象に、2024（令和6）年度は各連盟（道場）の代表を対象に開催しました。今後も継続的に開催することとしています。

また、本連盟では以前から主催・主管のすべての事業で役員を含むすべての参加者に傷害保険をかけています。さらに、数年前からは賠償責任保険にも加入し、万が一の事故に備えています。こうしたことも持続的な事業運営にとっては必須のことと考えています。

③ 連盟（道場）での取り組み

現在は、会員にも法人化が現実として認識されつつあると考えています。しかし、現状は全体而言えば法人化は「埼玉県弓道連盟（県連）の問題」にとどまっているのではないのでしょうか。今後は法人化にもなって各連盟（道場）での取り組み（特にガバナンス、コンプライアンスに関して）も必要であるという意識の醸成が必要になります。

弓道は公的な施設を利用しながら活動することが一般的であることから、自治体・施設・施設を利用する弓道連盟以外の団体個人等の理解を得ながらの活動が必要です。会員ひとりひとりが法人である本連盟を代表するという意識が求められています。ガバナンスコードへの自己説明を行うことは私たちの現状を確認するうえで重要なきっかけになりました。会員の皆様にもこうした点への関心も持っていただきたいと思います。

④ 県連財政の検討

昨年度、本連盟では理事会の決議によって「財政問題等検討小委員会」を立ち上げて、

本連盟の財政に関わる諸課題について検討を行いました。その結果は理事会の決議を経て本年度から実施されています。法人化には財政負担を要します。昨今の諸物価高騰も連盟の運営に影響を与えています。弓道は一般には生涯スポーツとして認識されており、弓道教室を開催すれば多くの参加者が集まります。コロナ禍後、会員数は回復してきていますが、年齢層を見れば比較的高齢の方が多く、退会する方たちも多い状況です。今後の日本は少子高齢化がさらに進み、スポーツの明日を担う若い方たちはますます減少していきます。報道では

2050年には日本の人口は1億人を切り、

2100年には現在の半分になるとのことです。弓道人口が減少すれば財政状況も厳しくなります。こうした状況（財政難が予想される状況）を会費増額という手段のみで乗り越えることは不可能です。本連盟ではすべての事業を対象に今後数十年を見通した「持続可能な」運営を検討しています。この作業は今後大きな課題として残ることと思います。

⑤ 自治体・他の競技団体等との連携

先にも述べたように、弓道連盟の多くは公的な施設を利用して活動を行っています。人口減少の社会情勢の中で、自治体が現在の施設を維持し続けることができるかどうか問題になってくると憂慮しています。スポーツが社会に果たす役割について一般論では異論を唱える方がいないとしても、具体的に各地域にある様々な施設を今と同じレベルで維持し続けることができるかどうかは別の議論になります。また、人々の志向の多様化によって多くの新しいスポーツが生まれてきており、自治体はそうしたニーズへの対応も迫られています。高度経済成長期に多くが作られた弓道施設を今後も維持していくためには自治体、その背後にいる多くの住民の理解は欠かせません。弓道が生涯スポーツであることを前面に押し出しつつ、住民や自治体関係者との連携を強化していくことが求められていると思います。各連盟においても各自治体、各地のスポーツ協会、各施設、施設利用の各団

体との会話を継続して行っていただきたいと思います。

⑥ 若いアスリートへの援助

人口減少、とりわけ若年層の減少に伴う競技人口の減少はすべての競技団体に共通している課題です。弓道においては60歳以上が会員の半数を超えており、今後の若い会員の減少が組織の運営にも影響を与えかねないと心配されます。しかし高校生に目を向ければ、全体として高校生が減少を続け、多くの部活動で部員数が減少している中で、弓道部員数は減少せず一定数を維持し続けています。今後はさらに高校生全体が減少しますから、長期的には弓道も部員数を減らすことになるでしょうが、中高年層だけではなく、若い世代にとっても弓道は魅力あるスポーツとして認識されていることがわかります。しかし、高校弓道部の卒業生が弓道連盟で引き続き弓を引くことが少ないことが課題の一つです。これは、現在は卒業後にさまざまな選択肢があることを考えればある程度やむを得ないことかもしれません。しかし、それでも何年か何十年か先に再び弓を引くことになる方たちは一定程度いますし、何より高校生も含めて多くの方に弓道についての理解を深めてもらうことは弓道界の未来にとって大切なことです。その若い世代にどのように支援ができるのかが問われていると思います。また、高校弓道部についていえば、弓道連盟会員でない部活動顧問の先生方が多数おられます。そうした方たちの声をどのように聞き、運営にどのように生かしていくかも大きな課題になると考えています。

法人化の目的はさまざまありますが、一言で言えば「組織におけるガバナンスの強化」です。法人に求められる種々の手順を尽くすことで、恣意的な組織運営を防ぐことができます。そうすることで個人の資質に頼らない持続可能な組織を作ることができると考えています。もちろん、すべての土台には会員の理解と協力があることは言うまでもありません。今後も会員のみなさまのご協力を得ながら日本のよき弓道文化を育て、次の世代に継承していきたいと思えます。本連盟の法人化やその前後の様々な取り組みはその一点に集約するものと考えています。

「埼弓連だより」の合理化検討に関する報告書（抜粋・一部改訂）

註）本資料は、総務委員会報告の内容をもとに、概要を抜粋し改訂を加えております。

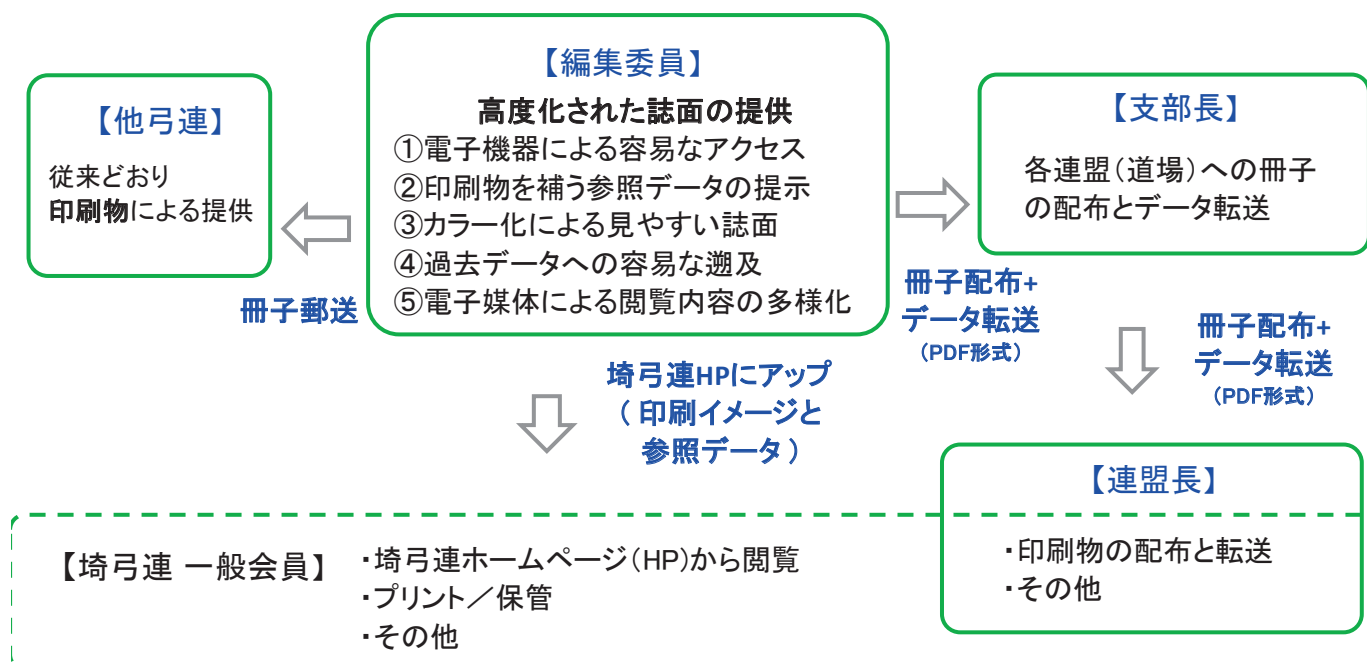
【基本方針案】

- ① 発行部数は削減するが、**必要最低限の印刷誌面を各支部経由で連盟に配布**する。
- ② 誌面内容の高度化と費用削減のため、**誌面（ページ数）の合理化を図る**。



この方針案にもとづき検討した概念

「埼弓連だより」合理化の概念



合理化運用時の課題と対応

- ①印刷物の配布手間が残る。⇒ 各連盟長に対応いただく(削減程度により手間は減る)
- ②誌面合理化(高度化された誌面作成)のための編集手間が増す。⇒ 従来の編集体制で実施

合理化推進時の効果予測(推定)

- ①発行部数削減に伴う費用削減効果は限定的(数万円程度／年:印刷時の紙代+郵送代の差額)
- ②誌面合理化(ページ数削減など)については、一定の費用削減効果あり。
- ③電子媒体の活用(HPの活用など)により、誌面提供の迅速化・多様化が図れる。
- ④支部長／連盟長が取り扱う印刷部数が減ることで、取扱い手間が軽減できる。

合理化作業推進要領

- 期間: 2024年 9月 1日 ～ (合理化検討にもとづく運用開始まで[令和7年度中])
- 場所: 必要により遠隔会議システム(Zoom)等を用いて作業を行う
- 参加者: 総務委員長、「埼弓連だより」編集委員 (敬称略、順不同)
二見富士夫、新井満、神田泰明、大塚経子、市川美和子

第 46 回【女子部弓道大会】 お披露目

(「埼弓連だより」75号 5ページのHP参照データ)



令和6年度下半期 高体連大会結果

(「埼玉連だより」75号 5ページのHP参照データ)

<全国選抜大会県予選> 9月27日(金)～29日(日) 大宮公園弓道場

女子団体 1位 大宮東A 2位 川越南B 3位 大宮東B 4位 大宮南A

男子団体 1位 正智深谷A 2位 川越南B 3位 川口北A 4位 川越B

※男女各1位が全国選拔出場 男女上位3校が関東選拔出場

女子個人 1位 田中莉央(大宮) 2位 石上依吹(武蔵越生) 3位 新井優菜(大宮南)

4位 葛西萌心(草加西) 5位 黒岩叶夢(大宮東) 6位 池田双葉(秋草学園)

7位 中村結音(川越総合) 8位 井上亜優(秩父農工科学)

男子個人 1位 印野陽(川越南) 2位 門脇巧磨(川越) 3位 有井結人(所沢北)

4位 辻駿斗(越ヶ谷) 5位 上岡太道(川越) 6位 松田心(慶應志木)

7位 坂本優真(浦和学院) 8位 門傳大惺(所沢北)

※男女上位2名が全国選拔出場 男女上位5名が関東選拔出場

<第78回国民スポーツ大会> 10月5日(土)～7日(月) 佐賀県多久市緑が丘弓道場
少年女子 近的7位 遠的6位 総合8位

選手 長島未侑(川越南) 伊藤瑞姫(東農大三) 河内來花(坂戸西) 監督 古岡大路(川越南)

<新人大会兼県体> 11月 2日(土) 3日(日) 大宮公園弓道場

男子団体 1位 川越南B 2位 越ヶ谷B 3位 入間向陽A 4位 坂戸西B

5位 坂戸西A 6位 川越A 7位 星野A 8位 浦和A

女子団体 1位 鳩ヶ谷A 2位 大宮南A 3位 浦和北B 4位 川越南B

5位 星野A 6位 正智深谷A 7位 大宮東A 8位 栗橋北彩A

※男女各上位2校が東日本大会出場 なお、男子の深谷第一は推薦出場

男子個人 1位 前田涼翔(東農大三) 2位 鈴木颯斗(星野) 3位 小林真梧(坂戸西)

4位 古川壮輝(坂戸西) 5位 高桑匠海(本庄) 6位 簾太一(浦和西)

7位 宮崎陸(川越南) 8位 松島空良(坂戸西)

女子個人 1位 丹野咲和(鳩ヶ谷) 2位 進藤千晶(浦和北) 3位 布施愛梨奈(秋草学園)

4位 長島未侑(川越南) 5位 岩淵結乃(浦和北) 6位 黒澤琴音(正智深谷)

7位 羽石梨々亜（大宮光陵） 8位 戸田あゆみ（秩父農工科学）

<第1回関東高等学校弓道選抜大会> 12月23日（土）～25日（月）東京武道館

男子団体 1回戦 正智深谷 9－8 厚木北（神奈川）

準決勝 正智深谷 9－7 慶応義塾（神奈川）

決勝 正智深谷 10－9 成田（千葉）

優勝 正智深谷（金子四季、山本竜矢、窪田有希、三志奈怜央）

女子団体 1回戦 川越南 8－7 芦花（東京）

準決勝 川越南 5－11 北杜（山梨）

3位 川越南（長島未侑、田中美羽、京極万穂、山内梨瑚）

女子個人 5位 黒岩叶夢（大宮東） 7位 葛西萌心（草加西）

<第43回全国高等学校弓道選抜大会> 12月25日（水）～27日（金）三重県四日市市総合体育館アリーナ

女子団体 1回戦 大宮東 7－3 倉吉西（鳥取）

2回戦 大宮東 6－5 高田商業（奈良）

準々決勝 大宮東 8－10 大垣商業（岐阜）

5位 大宮東（黒岩叶夢、荻原千夏、菱沼真央、石井美紗紀）

<第24回東日本高等学校弓道大会> 3月22日（土）～24日（月）山形市総合スポーツセンター

5人制男子 1回戦 川越南 412－123 苫小牧西（北海道）

越ヶ谷 12－16 作新学院（栃木）

2回戦 川越南 13－14 作新学院

5人制女子 1回戦 鳩ヶ谷 10－7 佐原（千葉）

2回戦 鳩ヶ谷 7－12 花巻北（岩手）

3人制男子 1回戦 川越南 5－9 福島工業（福島）

【75 号大会入賞記録】

(「埼玉連だより」75 号 6 ページの参照データ)

●第 75 回全日本弓道遠的選手権大会

令和 6 年 10 月 25 日(金)～27 日(日) ユウケイ武道館(栃木県)

○出場選手 女子：鈴木多恵子(吉川)、吉澤郷美(啖啄)〈いずれも決勝進出〉

男子：青木 豊(行田)、宮内 毅(越谷)

●第 147 回明治神宮奉納全国弓道大会

令和 6 年 11 月 3 日(日) 全日本弓道連盟中央道場/明治神宮武道場至誠館弓道場

○有段者の部：⑧野沢 匠(横瀬)

●第 22 回埼玉県武道大会

令和 6 年 11 月 24 日(日) 日高アリーナ弓道場(日高市) 参加 182 名

○中学生の部 個人：①山浦笛瑚(西部)②加藤悠磨(秩父)③黒澤彩保(秩父)

○支部対抗の部：①中部支部②東部支部③県南支部

○高校男子の部 個人：①小林真梧(坂戸西)②岩本創太(所沢)③伊藤 匠(飯能)

○高校女子の部 個人：①吉田恭子(星野)②戸田あゆみ(秩父農工科学)③日高 涼(草加東)

○一般男子の部 個人：①若林武司(小澤道場)②安野雄次(小川)③大樂真健(記念)

○一般女子の部 個人：①吉川 唯(日高)②川口えり子(川越)③関口淳子(熊谷)

●第 43 回全国高等学校弓道選抜大会

令和 6 年 12 月 25 日(水)～27 日(金) 四日市市総合体育館アリーナ(三重県)

○団体 女子の部：⑤大宮東

●埼玉県弓道連盟新年初射会

令和 7 年 1 月 5 日(日) 日高アリーナ弓道場(日高市) 参加 166 名(称号者 94 名、有段者 72 名)

○称号者の部：①森 俊人(吉川)②吉澤和代(小澤道場)③川口えり子(川越)④平川みゆき(上尾)⑤中島美佐子(大宮) ○有段者の部：①野沢 匠(横瀬)②三田 明(春日部)③丸山

康弘(横瀬)④水内美江子(毛呂山)⑤千葉秀明(毛呂山)

●第 72 回全日本勤労者弓道選手権大会・埼玉県予選

令和 7 年 3 月 8 日(土) 大宮公園弓道場(さいたま市) 参加 13 チーム 41 名

①ホンダ埼玉 A(京田元志、不藤奈々、伊藤隆司)①埼玉県教職員(佐藤陽平、生方美代、清水慶一)③ボッシュ(島田 勲、山屋和広、嶋田 誠)

※上位 2 チームは、令和 7 年 5 月 30 日～6 月 1 日に行われる第 72 回全日本勤労者弓道選手権大会(青森県)に出場予定 (3 位補欠)

●第 46 回埼玉弓連女子部弓道大会

令和 7 年 3 月 9 日(日) 大宮公園弓道場(さいたま市)

参加 231 名 (三段以下の部 80 名、四・五段の部 92 名、称号者の部 59 名)

○三段以下の部：①小林雅子(駒場)②清水ゆかり(朝霞)③佐藤めぐみ(朝霞)④石毛克恵(所沢)⑤松林華子(北本)

○四・五段の部：①菊池さつき(大宮)②伊藤沙智美(朝霞)③篠原妃誉(ふじみ野)④田中美穂子(鴻巣)⑤塚本美幸(川越)

○称号者の部：①中島美佐子(大宮)②榎本容子(大宮)③佐藤さつき(大宮)④奥富季乃(所沢)⑤松寄恭子(所沢)

◇知事杯：中島美佐子(大宮) ◇技能賞：該当なし